

安全就業ニュース

公益社団法人全国シルバー人材センター事業協会



すべての災害は
防ぐことができる

★今月の事故から★

1. 事故の概要（就業中6ヶ月以上の入院）

個人宅にて、脚立を使い、約3mのビワの木の剪定作業中、高さ約1.8mから左足を滑らせ転落した。事故後も約半月仕事を続けていたが、痛みが続いていたため通院したところ、胸椎圧迫骨折との診断で入院、手術となった。その後、骨折が原因での胸椎化膿性脊椎炎を併発し、下半身麻痺が残ったことから6ヶ月以上にわたり入院となったが現在も週3回通院、リハビリ中。

2. 事故の原因

ヘルメットは着用していたが、墜落制止用器具（安全帯）は未着用で、脚立に上りながら不安定な体制で作業を行ったこと。また、転落事故後、約半月間、通院が遅れたことも入院期間が長引いたことに関係していると思われる。

3. 事故後の対応及び再発防止策

【センターの事故後の対応】

班員全員と事故当日の状況、今後の対策について話し合い、「植木剪定作業サービス規程」の再確認をした。

転落等の事故が発生した場合は速やかに事務所に連絡し、すぐに受診するよう、周知した。
安全委員会、安全パトロールを実施

【センターの再発防止策】

まずは、高所での剪定作業にあたってはヘルメット及び墜落制止用器具（安全帯）の着用を徹底させること。また、併せて「植木剪定作業サービス規程」の徹底と、作業前及び当日の作業で想定される危険について、会員同士でミーティングする。

【連合の再発防止策及びセンターへの指導】

植木剪定の作業において発生する事故の多くは梯子や木の枝からの転落によるものであり、ヘルメットや墜落制止用器具（安全帯）を着用することで、重篤事故を防止することができることから、これらの着用がなければ作業を行わないこと及び認識の徹底について指導を行う。

また、万が一墜落・転落等の事故が発生した場合は、すぐに受診をし、怪我の有無の確認をするとともに早期に対応することを徹底する。

4. 全シ協から

今回の事故は約3mのビワの木の剪定作業中に脚立から足を滑らせた事故ですが、事故後、痛みを我慢して半月間、仕事を続けていたことで、6ヶ月以上の入院を余儀なくされました。このように、墜落・転落などがあった場合は、念のため、すぐに受診をするように会員に周

知徹底していただくようお願いいたします。

また、剪定作業については、ヘルメット及び墜落防止用器具（安全带）を装着することを、必ず実施していただき、墜落防止用器具（安全带）を装着できないのであれば、このような高さの剪定作業は請け負わないようにしてください。

残念な事故が起きないよう会員、役職員が一体となりセンターとして今一度会員が安全、安心して就業できる環境（基準の見直しなど）をご検討ください。

令和4年1月（令和3年度）事故速報

（1）重篤事故

1月は、9件の重篤事故報告がありました。1月までの累計で比較してみると、令和2年度の35件と比べて令和3年度は28件と7件減少しています。

また、就業中・就業途上別にみると、就業中では令和2年度の24件と比べ18件と6件の減少となっており、就業途上については、令和2年度の11件と比べ10件と1件の減少となっています。

1月報告分までの累計

| 令和3年度累計 | 就業中・ 就業途上 | 件数 | 内 訳 | | | | 令和2年度同月累計 | | | | | |
|---------|--------------|-------|-------|-------|------|------|-----------|-------|----|----|----|--|
| | | | 事故の程度 | | 性別 | | 計 | 事故の程度 | | 性別 | | |
| | | | 死亡 | 入院 | 男性 | 女性 | | 死亡 | 入院 | 男性 | 女性 | |
| 就業中 | 18(7) | 13(5) | 5(2) | 18(7) | 0(0) | 就業中 | 24 | 12 | 12 | 24 | 0 | |
| 就業途上 | 10(2) | 6(2) | 4(0) | 7(1) | 3(1) | 就業途上 | 11 | 10 | 1 | 6 | 5 | |
| 計 | 28(9) | 19(7) | 9(2) | 25(8) | 3(1) | 計 | 35 | 22 | 13 | 30 | 5 | |



前年度比 80.0% ()は、当月報告分です。

1月報告分内容

| No. | 性別等 | 仕事内容等 | 事故の状況 | 安全帽 | 安全带 | 交通手段 |
|-----|----------|-------------|---|-----|-----|------|
| 20 | 男 70歳 | 就業中 (入院) | 植木の剪定作業をしていたところ足を滑らせ脚立より転落した。その後も仕事を続けたが半月後、入院、手術となった。胸椎圧迫骨折。 | ○ | × | — |
| 21 | 男 74歳 | 就業中 (死亡) | 電動トリマーを使用している剪定作業中、脚立で足を滑らせ落下し脳挫傷で死亡した。 | ○ | × | — |
| 22 | 男 77歳 | 就業中 (死亡) | 昼食後、一人で先に、剪定作業を再開し、三脚から転落した。頭蓋骨骨折し脳出血のため、死亡した。 | ○ | × | — |

| | | | | | | |
|----|----------|--------------|---|---|---|-----|
| 23 | 女 73歳 | 就業途上 (死亡) | 事業所での清掃作業から自転車で帰宅途中、交差点で大型貨物自動車に巻き込まれ約4時間後に死亡した。 | — | — | 自転車 |
| 24 | 男 70歳 | 就業中 (入院) | ゴルフボール収集中、地下タンクに転落した。頸髄損傷。 | — | — | — |
| 25 | 男 75歳 | 就業途上 (死亡) | 業務終了後、2階の事務所の階段から踏み外し転落。頭部裂傷及び骨折、頸椎骨折、肋骨骨折した。 | — | — | 徒歩 |
| 26 | 男 92歳 | 就業中 (死亡) | 配布業務に従事している会員が自転車に乗り広報紙等を配布中、右側から宅配業者の車にはねられ頭蓋骨骨折により死亡した。 | — | — | — |
| 27 | 男 75歳 | 就業中 (死亡) | 剪定作業中、三脚から落下し、外傷性クモ膜下出血により死亡した。 | × | × | — |
| 28 | 男 75歳 | 就業中 (死亡) | 松の伐採作業中、木に立てかけた梯子の反対側に倒れ右体側面打撲により大動脈破裂により死亡した。 | ○ | × | — |

生活習慣病は予防と改善からコントロールへ

若い頃からの生活習慣病も加齢とともにさまざまな病態が上乘せされ、症状の現れ方の薬の効き目が変わってきます。ただ、薬を飲むのではなく、自分でコントロールしていく知識を持ちましょう。



高齢期に加わる病気や状態

認知症 サルコペニア 尿失禁 転倒・骨折 変形性関節症 心不全 フレイル 低栄養

重症化を防ぐために4つの生活習慣病をコントロール

自分に必要な正しい**知識**

主治医と二人三脚で**治療**

変化に気づく日々の**体調**

注意を守って生活習慣**改善**

薬を飲みすぎではありませんか？

高齢になると薬の種類や量も増えがちです。特に5種類以上の服薬している方は、かかりつけ医に相談を。

(出所 社会保険出版社 「健康長寿カレンダー」より抜粋)

(2) 1ヶ月～6ヶ月未満の入院及び後遺障害の事故

1月は、就業中の事故23件、就業途上の事故6件と、合計29件であり、昨年度同月の24件と比して5件の増加となっています。また、男女別では、男性は3件の減少となっており、女性は2件の増加となっています。

1月までの累計で比較してみると、昨年度の208件と比して、本年度は224件と16件の増加となっています。就業中・就業途上別にみると、就業中は169件で15件の増加となっており、就業途上は55件で1件の増加となっています。男女別では、男性は1件の増加となっており、女性は15件の増加となっています。

令和3年度1月分

| | 仕事の内容 | 事故数(件) | | 男性(件) | | 女性(件) | | 平均年齢(歳) | | |
|------|-----------|--------|----------|--------|----------|--------|--------|---------|----|----|
| | | 1月 | 累計 | 1月 | 累計 | 1月 | 累計 | 1月 | 累計 | |
| 就業中 | 植木・樹木の剪定等 | 8(9) | 64(68) | 8(9) | 64(67) | 0(0) | 0(1) | 73 | 74 | |
| | 除草作業 | 8(2) | 39(26) | 6(2) | 34(22) | 2(0) | 5(4) | 75 | 74 | |
| | 屋内・屋外清掃作業 | 3(4) | 29(32) | 0(2) | 10(16) | 3(2) | 19(16) | 75 | 74 | |
| | その他 | 4(3) | 37(28) | 4(3) | 27(22) | 0(0) | 10(6) | 73 | 75 | |
| | 計 | 23(18) | 169(154) | 18(16) | 135(127) | 5(2) | 34(27) | 74 | 74 | |
| 就業途上 | 交通手段 | 徒歩 | 0(2) | 15(16) | 0(1) | 5(8) | 0(1) | 10(8) | — | 77 |
| | | 自転車 | 5(2) | 22(27) | 3(1) | 9(18) | 2(1) | 13(9) | 78 | 78 |
| | | バイク | 1(2) | 10(9) | 1(1) | 6(5) | 0(1) | 4(4) | 81 | 74 |
| | | 自動車 | 0(0) | 8(2) | 0(0) | 6(2) | 0(0) | 2(0) | — | 73 |
| | | 計 | 6(6) | 55(54) | 4(3) | 26(33) | 2(3) | 29(21) | 79 | 76 |
| 合計 | | 29(24) | 224(208) | 22(19) | 161(160) | 7(5) | 63(48) | 75 | 75 | |

()は令和2年度同月の発生件数

「シルバー人材センター団体傷害保険に係る事故件数等報告書」については、事故の有無にかかわらず毎月8日までに必ず提出願います(平成30年4月24日付 事務局長通達により通知済)。

※ シルバー団体傷害保険の支払いが確定した事故については、速やかに「シルバー団体傷害保険に係る事故件数等報告書」により報告し、報告漏れがないようお願いします。

(3) シルバー派遣事業における労働災害報告の事故（休業1ヶ月以上）

4

11月は仕事の型別では、「その他の運搬・清掃・梱包等の職業」4件、「農業の職業」2件「教育の職業」「商品販売の職業」「営業の職業」「家庭生活支援サービス」「清掃の職業」1件であり、合計11件でした。前年同月の13件と比較して2件の減少となっています。

11月までの累計で比較してみると、昨年度の73件と比して、12件の増加となっています。また、男女別では、男性は41件で1件の増加となっており、女性は44件で11件の増加となっています。

なお、11月に死亡事故はありませんでした。

令和3年度11月分

| 仕事の型（中分類） | 中分類コード | 事故数（件） | | 男性（件） | | 女性（件） | | 平均年齢（歳） | |
|--------------------------|--------|---------|---------|-------|---------|-------|---------|---------|----|
| | | 11月 | 累計 | 11月 | 累計 | 11月 | 累計 | 11月 | 累計 |
| 建築・土木・測量技術者 | 9 | 0 (0) | 1 (0) | 0 (0) | 1 (0) | 0 (0) | 0 (0) | — | 74 |
| 社会福祉の専門的職業 | 16 | 0 (0) | 2 (0) | 0 (0) | 0 (0) | 0 (0) | 2 (0) | — | 78 |
| 教育の職業 | 19 | 1 (0) | 1 (0) | 0 (0) | 0 (0) | 1 (0) | 1 (0) | 72 | 72 |
| 商品販売の職業 | 32 | 1 (0) | 4 (1) | 0 (0) | 0 (1) | 1 (0) | 4 (0) | 71 | 68 |
| 販売類似の職業 | 33 | 0 (0) | 1 (0) | 0 (0) | 0 (0) | 0 (0) | 1 (0) | — | 74 |
| 営業の職業 | 34 | 1 (0) | 1 (0) | 0 (0) | 0 (0) | 1 (0) | 1 (0) | 74 | 74 |
| 家庭生活支援サービスの職業 | 35 | 1 (2) | 10 (7) | 1 (0) | 2 (1) | 0 (2) | 8 (6) | 67 | 69 |
| 介護サービスの職業 | 36 | 0 (1) | 0 (4) | 0 (0) | 0 (0) | 0 (1) | 0 (4) | — | — |
| 生活衛生サービスの職業 | 38 | 0 (0) | 0 (1) | 0 (0) | 0 (0) | 0 (0) | 0 (1) | — | — |
| 飲食物調理の職業 | 39 | 0 (0) | 2 (1) | 0 (0) | 0 (0) | 0 (0) | 2 (1) | — | 74 |
| 施設・ビル等の管理の職業 | 41 | 0 (0) | 2 (0) | 0 (0) | 1 (0) | 0 (0) | 1 (0) | — | 78 |
| その他のサービスの職業 | 42 | 0 (0) | 5 (1) | 0 (0) | 1 (0) | 0 (0) | 4 (1) | — | 73 |
| 農業の職業 | 46 | 2 (0) | 4 (1) | 0 (0) | 2 (1) | 2 (0) | 2 (0) | 75 | 72 |
| 生産設備制御・監視の職業 (金属材料製造) | 49 | 0 (1) | 0 (1) | 0 (0) | 0 (0) | 0 (1) | 0 (1) | — | — |
| 製品製造・加工処理の職業 | 54 | 0 (1) | 2 (5) | 0 (0) | 0 (0) | 0 (1) | 2 (5) | — | 73 |
| 機械組立の職業 | 57 | 0 (0) | 1 (0) | 0 (0) | 1 (0) | 0 (0) | 0 (0) | — | 78 |
| 製品検査の職業 | 62 | 0 (1) | 0 (1) | 0 (1) | 0 (1) | 0 (0) | 0 (0) | — | — |
| 自動車運転の職業 | 66 | 0 (0) | 2 (1) | 0 (0) | 2 (1) | 0 (0) | 0 (0) | — | 66 |
| 建設の職業 | 71 | 0 (1) | 0 (1) | 0 (1) | 0 (1) | 0 (0) | 0 (0) | — | — |
| 採掘の職業 | 74 | 0 (0) | 1 (0) | 0 (0) | 1 (0) | 0 (0) | 0 (0) | — | 70 |
| 運搬の職業 | 75 | 0 (0) | 4 (2) | 0 (0) | 4 (2) | 0 (0) | 0 (0) | — | 70 |
| 清掃の業務 | 76 | 1 (3) | 13 (16) | 0 (2) | 4 (10) | 1 (1) | 9 (6) | 77 | 74 |
| 包装の職業 | 77 | 0 (0) | 1 (1) | 0 (0) | 0 (1) | 0 (0) | 1 (0) | — | 75 |
| その他の運搬・清掃・包装等の職業 | 78 | 4 (3) | 28 (29) | 4 (1) | 22 (21) | 0 (2) | 6 (8) | 71 | 72 |
| 計 | — | 11 (13) | 85 (73) | 5 (5) | 41 (40) | 6 (8) | 44 (33) | 72 | 72 |

()は令和2年度同月の発生件数

令和2年4月以降に発生した「派遣労働会員の業務災害（休業日数4日以上又は死亡）」、「派遣労働会員の通勤災害（休業日数4日以上又は死亡）」については、「全シ協会員専用ページ」の「シルバー派遣事業における労働災害報告」により、各月翌月最終稼働日までにご入力ください。また、労働災害（業務・通勤ともに）が発生しなかった場合も「労働災害未発生報告」を選択のうえ、各項目をご入力ください。

★ 安全リレー ★

茨城県における安全就業の取組み

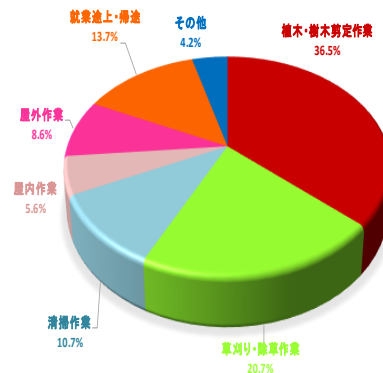
1 茨城県シルバー人材センター連合会の概要（令和3年3月31日現在）

- (1) センター数 42 団体
- (2) 会員数 15,917 人 男性 10,873 名 女性 5,044 名（構成比 31.7%）
- (3) 受注金額 7,521 百万円（内派遣 1,624 百万円）
- (4) 就業延べ人員 1,397 千人日（内派遣 286 千人日）
- (5) 粗入会率 1.5 %
- (6) 就業率（請負）：74.2%（派遣）：78.9%

2 過去5年間における県内シルバー人材センターの事故発生状況(シルバー保険対象事故)

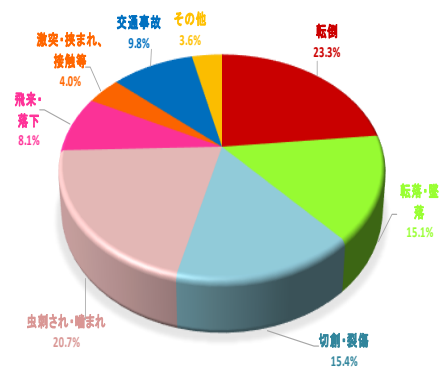
(1) 傷害保険事故(作業別)

| No | 内容 | 28年度 | 29年度 | 30年度 | 1年度 | 2年度 | 計 |
|----|-----------|------|------|------|-----|-----|-----|
| 1 | 植木・樹木剪定作業 | 46 | 52 | 48 | 47 | 42 | 235 |
| 2 | 草刈り・除草作業 | 24 | 26 | 27 | 30 | 26 | 133 |
| 3 | 清掃作業 | 11 | 13 | 21 | 14 | 10 | 69 |
| 4 | 屋内作業 | 5 | 11 | 11 | 5 | 4 | 36 |
| 5 | 屋外作業 | 8 | 21 | 12 | 7 | 7 | 55 |
| 6 | 福祉社会活動 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 |
| 7 | 就業途上・帰途 | 16 | 25 | 15 | 16 | 16 | 88 |
| 8 | その他 | 3 | 5 | 5 | 3 | 11 | 27 |
| | 計 | 113 | 153 | 139 | 122 | 116 | 643 |



(2) 傷害事故(型別)

| | 内容 | 28年度 | 29年度 | 30年度 | 1年度 | 2年度 | 計 |
|---|------------|------|------|------|-----|-----|-----|
| 1 | 転倒 | 23 | 24 | 43 | 35 | 25 | 150 |
| 2 | 転落・墜落 | 21 | 35 | 18 | 20 | 3 | 97 |
| 3 | 切創・裂傷 | 31 | 16 | 23 | 10 | 19 | 99 |
| 4 | 虫刺され・噛まれ | 19 | 33 | 27 | 28 | 26 | 133 |
| 5 | 飛来・落下 | 1 | 15 | 10 | 8 | 18 | 52 |
| 6 | 激突・挟まれ、接触等 | 4 | 5 | 6 | 2 | 9 | 26 |
| 7 | 交通事故 | 11 | 21 | 8 | 13 | 10 | 63 |
| 8 | その他 | 3 | 4 | 4 | 6 | 6 | 23 |
| | 計 | 113 | 153 | 139 | 122 | 116 | 643 |



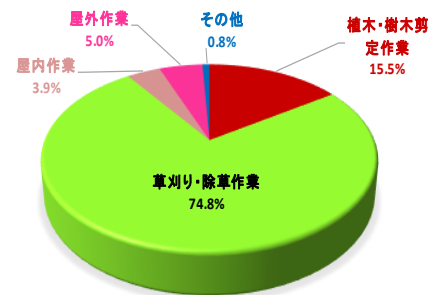
(3) うち重篤（死亡）事故案件

| 年度 | 性別 | 年齢 | 発生日 月／日 | 作業別 | 型別 |
|----|----|----|------------|------------|------|
| 28 | 女性 | 78 | 1月27日 | 就業途上(清掃作業) | 交通事故 |
| | 男性 | 76 | 3月28日 | 剪定作業(就業中) | 落下事故 |
| 29 | 男性 | 78 | 8月25日 | 就業途上(清掃作業) | 交通事故 |

6

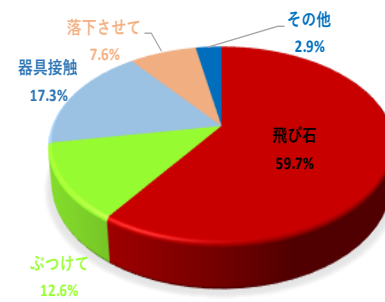
(4) 賠償事故（作業別）

| No | 内容 | 28年度 | 29年度 | 30年度 | 1年度 | 2年度 | 計 |
|----|-----------|------|------|------|-----|-----|-----|
| 1 | 植木・樹木剪定作業 | 19 | 19 | 21 | 22 | 15 | 96 |
| 2 | 草刈り・除草作業 | 87 | 101 | 84 | 97 | 95 | 464 |
| 3 | 屋内作業 | 4 | 5 | 4 | 5 | 6 | 24 |
| 4 | 屋外作業 | 11 | 7 | 3 | 7 | 3 | 31 |
| 5 | その他 | 2 | 0 | 0 | 2 | 1 | 5 |
| | 計 | 123 | 132 | 112 | 133 | 120 | 620 |



(5) 賠償事故（型別）

| No | 内容 | 28年度 | 29年度 | 30年度 | 1年度 | 2年度 | 計 |
|----|-------|------|------|------|-----|-----|-----|
| 1 | 飛び石 | 72 | 85 | 66 | 76 | 71 | 370 |
| 2 | ぶつけて | 22 | 14 | 12 | 22 | 8 | 78 |
| 3 | 器具接触 | 10 | 20 | 23 | 23 | 31 | 107 |
| 4 | 落下させて | 13 | 10 | 9 | 7 | 8 | 47 |
| 5 | その他 | 6 | 3 | 2 | 5 | 2 | 18 |
| | 計 | 123 | 132 | 112 | 133 | 120 | 620 |



3 過去5年間における主な安全就業の取組

(1) 安全就業対策推進会議の開催

- ①構成
- ：理事 2名 副会長職理事
 - 連合会 2名 事務局長、パトロール指導員（業務課長）
 - 各ブロック代表 4名 県央・県北、鹿行、県南、県西
 - 委員長要請委員 1名
 - 合計 9名

② 開催回数：年3回開催を予定

③ 重点目標：「重篤事故ゼロ及び傷害・損害賠償・交通事故の減少」（令和3年度）

(2) 安全就業パトロールの実施

平成28年度までは、事故発生件数の多いセンター中心に4センターを選択して実施していましたが、平成25年以来、29年度まで5年連続で死亡事故が発生してしまっていたこと、また、傷害事故、損害賠償事故件数も、横ばいと、なかなか結果がでないという状況でした。このような状況を踏まえ、事故発生件数の多いセンターを選択となりますと、どうしても就業実績の多いセンターに偏ってしまうことから、平成29年度から、事故発生件数の少ないセンターの取組状況も視察して、事故抑制、削減の参考とできればと考えて、事故発生件数に関係なく定期的（5ヶ年で県内全42センター）に実施することとし、パトロールを強化する意味で、実施するセンター数を4センターから8センターに増加しました。今年度は5ヶ年

計画の最終年となり 10 センターで実施いたしました。また、パトロールの結果、センターとの協議事項等参考となる情報は、連合会ホームページの会員専用ページにて公開しております。



・安全就業パトロール年度別計画表(平成 29 年度～令和 3 年度)

| 年度 | 県央・県北ブロック | 鹿行ブロック | 県南ブロック | 県西ブロック |
|----|-------------------------------|------------|---------------------------|---------------|
| 29 | 日立市 那珂市 | 鹿嶋市 神栖市 | 守谷市 つくばみらい市 | 常総市 五霞町 |
| 30 | 水戸市 城里町 | 行方市 潮来市 | 土浦市 かすみがうら市 | 桜川市 結城市 |
| 元 | 常陸大宮市 大子町 | 鉾田市 | 石岡地方広域 利根町 河内町 | 筑西市 下妻地方広域 |
| 2 | 常陸太田市 茨城町 ひたちなか市 東海村 | | つくば市 牛久市 阿見町 | 坂東市 |
| 3 | 北茨城市 高萩市 笠間市 大洗町 | | 取手市 龍ヶ崎市 稲敷市 美浦村 | 古河市 境町 |

(3) 死亡事故発生時の現地調査、事故原因の検証、再発防止策の検討

残念ながら、今年度 2 件の死亡事故が発生したため、それぞれ、安全就業対策推進委員による現地調査を実施し再発防止策について検討、協議、決定し全センターに対し注意喚起しました。

事案 1 : 中古車販売店で、車両の洗車就業中の事故

発生日等 令和 3 年 7 月 12 日 男性(73 歳)

事故の状況、原因等

炎天下での就業中に、熱中症で倒れ頭部を打撲し脳挫傷を負い亡くなりました。

本人からの訴えがなかったため、受診が遅れたことが要因と思慮されます。

再発防止策

当該センターでは①複数の会員が広い敷地で同様の就業をしていたが、それぞれバラバラに就業していたため、結果的に一人就業状態であったのでこれを回避する体制を徹底する。②本人が受診を強く拒否したことが受診の遅れの原因であることから、些細なけがであっても、早急に、必ず病院での受診を徹底する。③屋外での就業については、安全帽着用義務付けについて検討することとなりました。

事案 2 : チェーンソーによる伐木就業中の事故

発生日等 令和 3 年 11 月 19 日 男性(85 歳)

事故の状況、原因等

チェーンソーを使用しての伐木作業中、補助作業員である会員に切倒した木が体を直撃し亡くなりました。

倒れる木の方向を管理するためロープを張っていたが倒れる方向でロープを引く形になってしまったためであるが、倒す木の高さの 2 倍の距離を半径とする区域に入ってはならないといったルール(特別教育)が遵守されていなかったためと思慮されます。

再発防止策

当該センターでは①チェーンソーを使用しての伐木作業は行わないことを決定。②事故の発生状況を全会員に対し説明し、注意喚起を行いました。

また、当連合会においては、チェーンソー使用に係る就業は、労働安全衛生法(規則)のなかで、特別教育及び定期的な安全衛生教育が必要な「危険・有害な就業、会員である高齢者にふさわしくないと判断される就業、また、重大な事故に結びつくおそれのある就業」と認識しており推奨はしていなかったが、今回の事故を機会に全センターに実態調査を行いました。

8

(4) 安全就業推進大会の開催

毎年、国の安全・適正就業強化月間である7月上旬に、会員の安全就業への取り組みの促進と就業中及び、就業途上における事故発生の未然防止に資するため大会を開催しています。今年度は新型コロナウイルス感染防止のため参加人数を会場キャパ300人に対し100人に制限して実施しました。

内 容

- ①開催日 令和3年7月2日(金)
- ②参加者 88名 33センター
- ③優良センターの表彰
- ④優良センターによる「安全就業の取組について」事例発表
- ⑤講演1 「働く高齢者の転倒予防について」
- ⑥講演2 熱中症警戒アラートの運用開始を受けて
「高齢者のための熱中症の予防と対策について」



(5) 安全スローガンの募集、全シ協への推薦

全シ協が3年毎に実施している安全スローガン募集に合わせて各センターからの応募を受付け、安全就業対策推進委員により優秀作品を選定、安全就業推進大会で表彰を行うと共に全シ協に推薦しています。令和2年度には、日立市シルバー人材センター会員作品の「いつまでも働く喜び無事故から」が最優秀作品に選定されました。



(6) 安全就業対策講習会の開催

平成30年度より、センター会員、役職員を対象にタイムリーな題目で講習会を開催することとしました。

- ・平成30年度「植木剪定における転落防止と安全就業について」
- ・令和元年度「蜂刺され予防対策と緊急時における対処法について」
- ・令和2年度「刈払機の安全な取扱いについて」(コロナ感染拡大のため中止)
- ・令和3年度 令和2年度中止となり、賠償事故の6割を占める飛石による事故について、県内において飛石事故件数の少ない3センターに好事例として「刈払機の安全な取扱いについて」紹介いただく予定でしたが、新型コロナウイルス感染拡大防止のため中止としました。

(7) 事故発生状況調査・結果のフィードバック

平成30年度より、各センターからの4半期ごとの報告に基づき、「労働局」、「ハローワーク」、「県・労働政策課」に報告を行っております「傷害事故発生状況等報告」の実件数、賠償額については発生率も併せて掲載し、より実態に即した情報をセンターにフィードバックしています。

4 5年間の取組の結果、今後の課題

平成25年度から29年度まで5年連続で死亡事故発生という状況のなか、29年度から安全就業パトロール実施回数を増やし、その結果や好事例等の共有化、30年度から安全就業対策講習会の

開催、令和元年度から事故発生状況データのフィードバック等、新たな取組を実施し平成30年度、令和元年、2年度は、死亡事故が抑制できたが、本年は2件の死亡事故が発生してしまいました。また、傷害、損害賠償事故件数も横ばいであります。会員の平均年齢が上昇しているなか、健康管理を含めた、より効果的な取組を検討し、安全就業対策の充実を目指していきます。

茨城県シルバー人材センター連合会様からの報告でした。
詳細にわたるご報告、誠にありがとうございました。

9

編集後記

立春を過ぎましたが、春は名のみ寒さが続いており、日本海側は大雪に暴風雪。ホワイトアウトなどご注意ください。一昨年のちょうど今頃始まった新型コロナウイルス感染症は次々変異株が現れ、感染力の強いオミクロン株になってからは爆発的な感染となっていますが、感染者数はここにきて減少傾向？そんな中、学生時代の親友のご主人がコロナに感染。基礎疾患があり、免疫力を下げる薬を服用していたために重症となり人工呼吸器。全身麻酔で2週間後、目が覚めるか、亡くなるか、目が覚めないで気管切開の延命治療と言われたとのこと。一人で抱えきれず、話してくれた彼女の話をただ聞くことと、励ますことしかできない自分。何とか山を越え、回復期の病院に転院することができたとき聞いた時は、本当に嬉しくて二人で泣きました。コロナは身近なところに迫ってきています。自己防衛にはマスク、手洗いなど予防策を徹底し、三密を避けて、3回目のワクチン接種くらいでしょうか。それまで今できる感染対策を講じ、お元気にお過ごしいただければと思います。もう1月もしないうちに、桜が咲く季節となります。年度末まであと1ヶ月余り、健康に留意され、気を引き締めて安全就業に努めてください。(松山)

わが家には可愛い猫が二人います。猫ですが数え方は「頭・匹」ではなく、敢えて「人」と言わせてください。大事な大事な家族なので。今から11年前に岐阜県のブリーダーさんから譲り受けた双子のアビシニアンで、家に着くなり「みゃみゃみゃ」と元気良く飛び回っていたことを今も鮮明に思い出します。生後3か月だった仔猫は今では11歳。人間だとだいたい60歳くらいになります。冷蔵庫の上など高い所にいとも簡単に飛び上がっていましたが、最近ではその数も減り、歩く速度もいくぶん遅くなったような気がします。そんな一人が昨年、突然興奮した様子でぐるぐると同じ場所を回りはじめました。昼に始まり夕方になっても続き、抱っこしても押さえ付けても止まらず、翌朝にようやく疲れ果てて回るのをやめ、グッタリ寝てしまいました。私は認知症を疑い、撮影した動画を獣医に見せたところ「何らかの脳疾患により一時的に脳圧が上がり、平衡感覚に障害が起きている」とのことでした。その後、一度だけ発作がありましたが抱きしめていたら落ち着き、今のところは普段通り元気に暮らしています。動物は話をすることができないので、人間が表情や行動をよく観察してあげなければいけません。シルバー会員の皆さんは多少の体調不良を我慢したりしていませんか？人間は動物とは違い言葉が話せるものの我慢をすることができるので、周りが気付けない場合があります。朝礼時や就業前に会員さん同士で顔色や行動などを確認し、もしも体調が悪そうな人がいたら休んでもらうなど、お互いに注意をするように心がけて毎日生き生きと活躍してください。(高木)



本書は、平成2年に初版「シルバー人材センターの安全作業と会員の健康」(安全の手引)としてスタートし、第五改訂版が「安全・適正就業の手引」として編纂されてきたところです。

今回の第六改訂版については、シルバー派遣による就労拡大等の環境の変化を受け、「安全就業の手引」として、適正就業とは切り離してその充実を図った上で、編纂することとしました。

「安全・安心なシルバー事業」の確立を図ることは、シルバー事業遂行の根幹をなすものであり

価格 2,200円（税込、送料は実費です。
お支払いの振込手数料はご負担いただきます）

お問い合わせは 企画情報課宛、下記 FAX または電子メールでお願いします。

FAX 03-5665-8021 E-mail : zsk@sjc.ne.jp

★ご購入は、全シ協会専用ページの「頒布物の購入申込み」メニューからお申込みください。